

掘ってわかった！江戸から昭和の清瀬の農村の生活

下宿内山遺跡は、今から約40年前に清瀬水再生センターの建設に伴い、発掘調査が行われた市内でもっとも大きな遺跡です。広大な調査地からは縄文から昭和までの遺構・遺物が見つかっていますが、特に江戸時代以降の農村を考古学的に調査したことは当時としては画期的でした。

「遺跡」や「考古学」と聞くと土器や古墳など大昔のイメージを持つ方も多いと思いますが、畑などから出土した昭和時代の陶磁器なども考古学の研究対象であり、当時の人々の生活を知る貴重な手がかりとなっています。

発掘調査から約40年、江戸時代以降を対象とする考古学的研究は目覚ましい発達をとげました。発掘当時にはわからなかった部分も解明されつつあります。本展では、新しい考古学知見を踏まえ、下宿内山遺跡と清瀬の歴史を紹介します。 郷土博物館 ☎042-493-8585



発掘調査風景

郷土博物館学芸員 中野光将の

下宿内山遺跡展の見どころ 深掘りポイント

● はじめに

下宿内山遺跡が発掘調査されてから約40年が経ちますが、大々的に展示で扱うのは今回が初めてです。

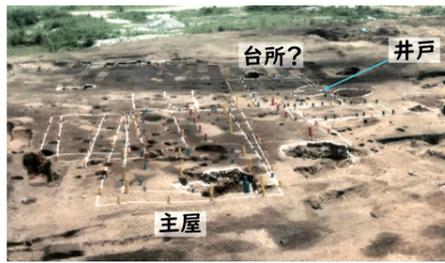
この遺跡は、当時としては画期的な江戸時代から昭和までの農村の建物・井戸などの居住施設や、当時の人々が使用した茶碗・皿などの陶磁器を調査していました。これらの調査成果を、約40年経った今、改めて見直すと発掘当時にはわからなかったことが次々と見付き、その成果が今回の展示となりました。

ここでは、展示の見どころとなる2つの発掘成果を紹介しましょう。

● ポイント1

1つ目は、江戸時代初めの旗本陣屋が発見されたことです。旗本陣屋とは、徳川家康が天正18年(1590年)に江戸へ国替えされた際、江戸周辺部に配置された旗本が、家康から与えられた土地を統治するために構えた居住施設のことです。

旗本陣屋の発掘調査事例は現在でも少なく、関東でも7例ほどで、その内の1つがこの下宿内山遺跡です。そして下宿内山遺跡の旗本陣屋からは、当時周辺を統治していた旗本太田氏とその家臣団と思われる居住施設が見つかり、貴重な発掘調査成果となっています。今回の展示では、下宿内山遺跡の



旗本陣屋全景

旗本陣屋と清瀬市以外の地域の旗本陣屋から出土した陶磁器を展示します。

● ポイント2

もう1つは、江戸時代から昭和40年代までの約400年間に使用された大量の陶磁器です。この陶磁器の多くは、発掘調査で見つかった14軒の農家に住んでいた人々が使用していたもので、なかには今でも使えそうな茶碗・皿・急須・土瓶、そしてすり鉢などがありました。

また、明治時代以降の陶磁器の一部には、農村であった事をほうふつとさせる肥料や小麦などを販売していた商店の名前が書いてある湯呑茶碗などが見つっています。現在の研究では、これらの陶磁器の産地や器種から、作られた年代を知ることができます。そして、その年代を基準に当時の人々がどのような生活をしてきたかを復元することができるのです。今回の展示では、農村である下宿内山遺跡の様子を陶磁器から復元し、その比較として江戸時代の大名家敷・町屋から出土した陶磁器を展示します。



明治時代の用水路から出土した陶磁器

● お待ちしています！

簡単に見どころを紹介しましたが、いかがでしたでしょうか。この秋はぜひ、発掘から約40年が経過して初めての展示となる、下宿内山遺跡を体感しに博物館にお越しください！ 皆様のご来館を心よりお待ちしております。

下宿内山遺跡展を掘り下げる！ 関連イベント

1.見どころ紹介

☎11月23日(月)、12月6日(日)午後1時30分～2時30分ごろ ※直接会場へ。

2. 親子歴史講座「みんなでミニ発掘体験」

博物館の庭で発掘体験をします。一緒に大昔を体験してみよう！

☎小学生と保護者を1組として、先着5組(10人) ☎11月29日(日)午後1時30分～3時



3.記念講演会1

古文書や考古学の成果から、下宿内山遺跡のある下宿地域を紹介します。先着25人。

☎11月28日(土)午後1時30分～3時40分【テーマ・講師】「古文書から見る下宿」國學院大學教授 根岸茂夫氏、「発掘成果から見る下宿」郷土博物館学芸員 中野光将

4.記念講演会2

下宿内山遺跡の発掘成果を近世考古学の視点から考えます。先着25人。

☎12月12日(土)午後1時30分～4時50分【テーマ・講師】「発掘調査から見える江戸と近郊村落—下宿内山遺跡の成果とからめて—」東京大学埋蔵文化財調査室准教授 堀内秀樹氏、「江戸時代初期の旗本陣屋の様相」郷土博物館学芸員 中野光将、「出土遺物から見る下宿の生業」郷土博物館学芸員 東野豊秋

☎☎2～4は11月1日午前9時から郷土博物館 ☎042-493-8585へ

掘り出された陶磁器を少しだけご紹介



左から江戸時代の飯茶碗・急須・徳利

展示される陶磁器は、当時の農村の人々が実際に使用していたものです。中には破損していない陶磁器もたくさん見つっています。

使用されなくなった陶磁器は、用水路や溝、ごみ穴に捨てられていました。

写真のように陶磁器がまとまって見つかることも。



発掘された屋敷を区画する溝と陶磁器(右)

納税にご協力を

■夜間納税・納税相談 ☎11月25日(水)・26日(木)いずれも午後8時まで
■日曜納税・納税相談 ☎11月29日(日)午前9時～午後4時

■土曜納税・納税相談 ☎11月14日(土)午前9時～正午
場いずれも市役所徴収課窓口 ☎徴収課徴収係 ☎042-497-2045